



ダイヤモンド
シティ
小美玉
を見つける。
みがく。
光をあてる。

広報
おみたま
第190号

2022年
January

1

contents

[特集] 自然を体験できる暮らし	4-7
シティプロモーションアワード金賞	8-9
わだい	11-13
TOPICS	14-18
4コマ小美玉暮らし	20



くらし

自然を体験できる

新年に新しいチャレンジしませんか？



広報
おみたま
第190号



小美玉市長 島田 稔一

新年あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、市政運営にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

感染症対策・経済対策を全力で

昨年は、マスク着用や3密回避などの取り組みに加え、ワクチン接種を順次進めながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた年となりました。現在も予断を許



小川北義務教育学校イメージ図



さらに伸びゆくまちへ

今月の表紙



シビック・ガーデンで、育てたサツマイモを収穫する中村大希さん。シビック・ガーデンは、1区画30㎡を年間利用料5,250円で借りることができる市民農園です。問い合わせ 小美玉農業公社 ☎0299-48-3971



ダイヤモンド
シティ
小美玉
見つける。
みがく。
光をあてる。

ダイヤモンドシティ小美玉とは？小美玉市を「小さく美しく輝く玉」= 宝石の王様ダイヤモンドになぞらえ、一人ひとりの可能性はダイヤモンドの原石であることを表しています。原石を見つけ、みがいて、光をあてることでダイヤモンドが輝きを放つと同じように、人や地域の魅力が輝くまちへの想いが込められています。

施設分離型小中一貫校として、これまでにない新しい教育環境が間もなく実現します。将来を担う子どもたちが、生き生きとたくましく育つための環境整備は、最も重要な施策のひとつとして、引き続き取り組んでまいります。

安心安全なまちづくりに重点

これまで進めてきました「茨城空港アクセス道路」のほか、「羽鳥駅周辺整備事業」や「玉里学園義務教育学校」、「霞台クリーンセンターみらい」の建設などの大型事業は次々と完了を迎えました。並行して取り組んでまいりました上下水道や生活道路の整備、防災対策の充実など、市民生活の向上に直結する施策については、これまで以上に重点を置き、限られた財源の中ではありますが、さらなる安

さない状況ではありますが、市民の皆様をはじめ、医療従事者や各事業者の皆様方の多大なるご協力により、落ち着きを取り戻しつつあり、誰もが新型コロナウイルスの終息を願っているところです。市としても、引き続き、感染症対策及び経済対策に全力で取り組んでまいります。

茨城空港アクセス道路 全線開通

「茨城空港アクセス道路」は、昨年6月に全線開通いたしました。これもひとえに、多くの関係者各位のご支援とご協力のたまものと、改めて深く感謝申し上げます。全線開通により、茨城空港へのアクセス時間が大幅に短縮され、利便性の向上が図られました。今後、茨城空港を核としたまちづくりを推進していく中で、市内外の新たな交流が生み出され、空のえき「そ・ら・ら」を含めた周辺地域の産業・経済がますます活性化することを大いに期待しております。

将来のための教育環境整備

「小川北義務教育学校」は、本年4月の開校に向け、新校舎の建設工事が順調に進んでいます。初の



全安心なまちづくりに力を入れていくことが必要と感じております。

地域資源を生かし「住み続けたい」まちへ

乳製品や鶏卵、豊富な農産物のほか、霞ヶ浦をはじめとした風光明媚な景観地など、本市が誇る地域資源は数多くあります。これらを最大限に生かし、シビックプライドの更なる醸成と市内外に向けた情報発信の強化を行いながら、「対話と協調」を基本理念に「住んでみたい、住んでよかった」これからも住み続けたい小美玉市」を推進してまいります。

寅年は、春が来て草木が伸び始める状態だと言われています。市政運営の指針である第2次総合計画前期基本計画の集大成の年となる今年、本市は、更なる成長をすべく各種事業を展開してまいりますので、市民の皆様には、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、健康で幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

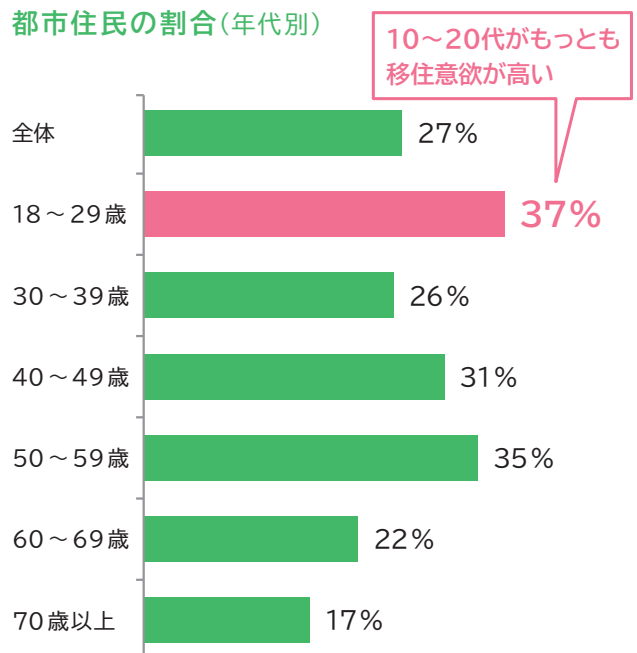


新年に新しいチャレンジしませんか？

自然を体験できる

くらし

農山漁村地域への移住願望が「ある」「どちらかという」と答えた都市住民の割合(年代別)



内閣府「農山漁村に関する世論調査」(令和3年調査)をもとに作成

自分らしく生きる場として地方に注目する若者が増え、都市部から地方へ移住しようとする流れが広がっています(※1)。子どもの教育面でも、自然が多い地方での生活は「学校や家庭では得られない貴重な体験ができる」と多くの人が好意的に捉えています(※2)。東京から車で約90分の小美玉で、「自然を体験できるくらし」を積極的に楽しむ人々の声をご紹介します。

※1農林水産省「令和元年度食料・農業・農村白書」 ※2内閣府「農山漁村に関する世論調査」(平成26年調査)



市民農園 シビック・ガーデンを 借りる大学生に取材!



大学4年生
中村 大希さん
(希望ヶ丘)

畑歴:
1年6か月
育てた作物:
さつまいも、苺、人参など

勢いで借りたシビック・ガーデン

新型コロナウイルスが流行するまでは、カナダに留学中でした。その後日本に戻ること余儀なくされ、残りの学生生活は実家がある小美玉で過ごすことに。コロナ禍で不自由な生活を送っていた中、たまたま再会した幼なじみと「何かやりたいね」と意気投合し、幼なじみの祖父が利用していたシビック・ガーデンを借りてみました。

畑を始めるまで、野菜は簡単に生えるものだと思っていましたが、実際に栽培するとうまくいかず、慣れるまでたくさんの人に助けってもらいました。



食べ物への意識も変化しました。以前はただモノとして食べていたのですが、苦勞があつて作られていると気づき、敬意をもって食べるようになりました。

畑から始まるコミュニケーション

当初は家族に「また変なこと始めて……とあきれられました。近隣の人に野菜をおすそわけしたら喜んでもらえて、コミュニケーションのきっかけに。野菜をスイーツケースに詰め、大学まで運んで友人に配ったこともあり。地域の魅力発信にもつながったと思います。

自然が近くて のびのび子育てできます

東京に住んでいましたが、現在は地元の小美玉に戻り、テレワークをしながら暮らしています。東京では家中でしか遊ばせることができず、生き物に触れる機会も少なかったですが、小美玉だとさまざまな生き物に実際に触れます。

自分が幼少期から当たり前に行っていた土いじり。土に住む生き物に出会うことで生命を大切にすることが育まれるので、子どもにも積極的に土いじりさせています。庭でトマトなどの夏野菜を育てたことも、野菜が成長していく様子を見て、育てたものを食べることは魅力的で、子どもの教育にも良いことだと思います。



東京からUターン 保田 孝雄さん(張星)

「おみたまぐらし」 ホームページをチェック!

小美玉市で暮らすヒト、コト、モノに注目し、見た人が小美玉を好きになれるような情報を発信中!



詳しくはこちら ▶



社会福祉法人仲田会 納場保育園



ダンボールコンポストでSDGs

野菜くずと土をダンボールの中で混ぜると、土の中の微生物が野菜くずを分解し、堆肥ができます。幼少期から自然にSDGsを実践しています。



ダンボールコンポスト

■自然豊かな風景を心の中に

保育園の周りには、田んぼも川も山もあります。子どもを自然な中で遊ばせると、元気でたくましく育ちます。米作りを体験したり、愛宕山にある巴川の源流を見に行ったりする体験を通して、自然豊かな風景を身近に感じ、良い思い出として覚えていてくれると嬉しいです。

トキワ園芸農業協同組合花木センター 宮本 能行 課長



植物を育てることが毎日の癒しに

1月になると、年の変わり目にあわせて新しい植物を買い求める方がご来店します。スナップエンドウなどの豆類の植物は育てやすいので、初心者の方にオススメです。植物を栽培したことがなくても大丈夫。ネットで調べた情報だけだとわからない場合は、気軽に近くのスタッフに栽培の仕方を聞いてみてください。

■育てられるか不安なら...

観葉植物のアイビーはもっと育てるのが簡単です。耐寒性、耐暑性が強く、ひなたでも光が少ないところでも育ちます。常緑なので、家に緑がほしい人にぴったりです。



観葉植物「アイビー」



食の宝庫 小美玉を感じるツアー

関連記事



食の豊かさがある暮らしを体験する「食と農のプログラム(全3回)」を実施し、都内を中心に12名が参加しました。酪農家や納豆メーカー、梨農家、カフェオーナーなど、小美玉の食にゆかりのある働き手から直接お話を伺いました。参加者からは、「生産者の話を聞くことで、食べ物がより美味しく感じることできて、小美玉に愛着が湧いた。想像以上に面白かった」という声が上がりました。

2022年 新成人

おみたまくらし

未来議

みらいかいぎ



美野里中学校出身
宮川 茉莉さん

小川南中学校出身
高柳 琳さん



玉里中学校出身
石井 美羽さん

小川北中学校出身
工藤 一慶さん

小美玉市出身の新成人4人に、自然が近い「おみたまくらし」の魅力を語ってもらいました。

子どもの頃に感じた自然の中で遊ぶ楽しさは？

石井さん 小学生の頃、ホトメの里を管理するおじいさんが学校の授業に来てくれて、「いつでもホトメの里に遊びにきていいよ」と話してくれました。それがきっかけで、ザリガニをとって友達と遊んでいました。



高柳さん 竹林の竹を切って迷路を作って、そこに秘密基地を作ったり、沼で忍者のまねをしてタライで水面に浮かぶ遊びをしたりしていました。

これからも残りたい！小美玉の風景

工藤さん 茨城空港の展望デッキです。父が自衛官で、民間機と演習で飛ぶ戦闘機の説明を聞きながら、滑走路を見た思い出があります。

宮川さん 夕方、家の周りを妹や母と散歩するときの景色です。夕暮れの空がきれいで、巴川と森が見えます。



私と小美玉の未来

宮川さん 新鮮なものをいつでも食べられる環境はいいなと思います。祖父が家庭菜園をしていて、夕飯前に、母と一緒にトマトやキュウリを収穫しました。将来もそういう暮らしができるといいなと思っています。

小美玉で始める自然を体験できるくらい

土いじりや自然に触れる暮らしを通して、生活を充実させている人たちを紹介してきました。自然に近い暮らしから遠ざかっていた人ほど、その体験を新鮮に捉え、魅力を感じていました。土いじりに人間性を養う効果を見出す人がいたように、心と自然は結びつきがあり、無意識に惹かれるものなかもしれません。コロナ禍で生活様式が一変したことも、自身の生き方を見つめ直し、新しいことにチャレンジするきっかけになっていると考えられます。

小美玉市は、東京から車で90分と利便性が高く、その一方で自然を身近に感じながら暮らせる恵まれた地域です。新年にあたり、皆さんも土いじりや自然に触れる生活を始めてみてはいかがでしょうか。

シティプロモーションアワード

専門家が選ぶ全国表彰で最高位を受賞

金賞

C_Award



対話の文化を継承し進化させる小美玉市の取り組み。
シティプロモーションがまちに真剣になる人を増やす。

対話の文化の継承と広がり

昭和後期から平成初期に活発に活動していた地域青年組織「青年団」は、異なる文化や価値観を許容し、共有できる部分を見つけ出し、納得する着地点を見出す「対話の文化」を培い、地域のリーダーを育成してきました。青年団が活動休止後、代わって人材育成の役割を果たしてきたのが四季文化館のこれです。創造活動を通して「対話の文化」を体得し、まちへの愛着と誇りと当事者意識を持つ、いわゆるシビックプライドを高める取り組みは、アピオス・コスモス、ダイヤモンドシティプロジェクト、全国ヨーロッパサミットへと広がり、現在、シティプロモーションの原動力となっています。

魅力を発信する市民チーム

コロナ禍の影響で改めて地元を向けてようという人が増え、マスメディアが拾いきれない、地元の店やイベント情報、生活に役立つ情報、まちの魅力を伝える地域メディアが求められるようになりました。

「Omitama Shigoto（オミタマ・シゴト）」は、クリエイターと農家で構成

中・高・大学生も小美玉を語る
中学生が英語で小美玉の魅力をプレゼンしたり、高校生が魅力動画やパンフレットを制作したり、大学生が小美玉を訪れ市民から話を聞き、魅力を見つけて発信する活動が始まっています。自ら見聞きし、探究することで、「魅力が何もない」のではなく「自分が知らなかっただけ」との気づきを得ます。

まちに真剣になる人を増やす

小美玉に住む人や関与する人がまちを見つめ直し、魅力に気づいたら、きっと誰かに広めたくくなります。その情報

し、月1回、インターネット配信番組「Omitama Times（オミタマ・タイムズ）」でまちの魅力的な人や取り組みを独自に発信しています。「タウンジャーナル小美玉」は、住んでいる人たちが「私のオススメを語る」ウェブメディアです。茨城新聞社の指導を受けたタウンレポーター（市民記者）たちが取材と記事を執筆し、編集部が校正して、毎週金曜日に記事を発信しています。



シティプロモーションアワードは、地域に関わる人々の幸せにつながる、的確なシティプロモーションを行っている自治体を、専門家で構成する実行委員会が選出し、全国表彰するものです。2021年12月24日に表彰式が行われ、賞状と盾が贈呈されました。



これまで受賞した
シティプロモーション
全国表彰

平成31年全国広報コンクール
映像部門 特選・総務大臣賞



小美玉ヨーグルトストーリー

全国シティセールスデザイン
コンテスト2019 大賞



ダイヤモンドシティ小美玉デザイン

令和2年全国広報コンクール
映像部門 入選



ダイヤモンドシティ小美玉2020

対話の文化で自分ごと化



シティプロモーション
アワード審査委員長／
東海大学 教授

河井孝仁 さん

「青年団」から伝統の文化である「対話の文化」を軸にシティプロモーションを発展させていることはユニークで重要な取り組みであると評価しました。

対話により市民参画を自分ごと化として捉え、地域の担い手を増やすための市民の熱量である市民参加総量の向上を目指して活動していることも意義があると考えます。

さらに、イベントごとに前後の指標を把握し効果を確認されていることや、自ら小美玉市の魅力を語る市民チームによる地域の情報発信が積極的なことも授賞に繋がりました。



2017年7月に開催した取出新吾氏(元 茨城県広報監.現 小美玉市シティプロモーション推進懇談会会長)の情報発信セミナーに約120人が参加。情報発信への関心が高まり、現在のシティプロモーションへとつながっている。

を受け取った人がまた小美玉の魅力に気づき、行動を起こすようになる。このリレーを生み出すため、さまざまな手法で小美玉の魅力を明らかにし、情報を編集して活用できるようにしていきます。

小美玉を知人にお勧めする推奨意欲、小美玉を良くする活動に参加する参加意欲、小美玉を良くする活動に参加している人に感謝する感謝意欲、この3つの意欲を事業の前後でアンケートによって数値を測り、事業評価を行って、的確な次の一手を考えます。「まちに真剣になる人」を増やして、小美玉に関わる人々の幸せを持続することが、小美玉市のシティプロモーションの目的です。シティプロモーションを始めて3年で全国表彰されるまでになったのはなぜか。その要因を市民が語るトークイベントを開催します。オンライン(Zoom)参加もできますので、ぜひご参加ください。



2022.1.29
13:30-16:30

なぜ、小美玉市がたった3年のシティプロモーションで金賞に輝いたのか？

市民が語る！ 小美玉の元気のヒミツ

会場：四季文化館みの〜れ
定員：50名
参加費：無料(要事前申し込み)
対象：市内外問わず中学生以上
問合せ：企画調整課シティプロモーション係 0299-48-1111(内線1235)

オンライン参加もできます。
小学生以下は保護者の方とオンライン参加をお願いします。
オンラインは①②のみとなります。

企画内容
① 市民5人のプレゼン
② トークセッション
③ 会場の皆さんでトーク



申込フォーム



JA新ひたち野蓮根部会玉里支部 部長
西村 哲也さん (川中子)



レンコン農家の家に生まれ、会社員を経て40歳のときに就農。家でよく食べるレンコンの食べ方はギョウザやハンバーグ。「シャキシャキした歯ごたえが美味しくて、子どもも好物です」



玉里東小学校の出身なので、東小が昨年3月に閉校して寂しい気持ちがありました。でも、中3の息子は玉里学園義務教育学校のきれいな校舎での学校生活を楽しんでいるようなのでよかったです。



旬なあの人に聞く「あなたのダイヤモンドは？」。今回は、新年の縁起物、レンコンを生産する西村さんにお話を伺いました。

「小美玉のレンコンは美味しい」 そう言われる産地に

レンコンは「先を見通せる」ことから、縁起物として年末年始に出荷の最盛期を迎えます。冬のアス田は葉が枯れて見えませんが、土の下には休眠状態のレンコンが埋まっています。収穫は、水圧ホースを使って周りの土を払いながら手探りで掘る、大変な作業です。

玉里地区のレンコンは大正時代以降に作付面積が拡大。もとは稲作が多い土地でしたが、泥質土壌や度重なる水害によりレンコン栽培へ転換が進み、昭和56年から始まったビニールハウスによる促成栽培で1年

を通して高品質のレンコンを安定して生産できるようになりました。若手や後継者にも恵まれ、現在、部会の玉里支部は50名。土づくりや優良品種の選抜などで、環境に優しいレンコンづくりに取り組んでいます。

「このレンコンは美味しい」と言われるブランド力のある産地にしたいです。県の銘柄産地指定を継続しながら、日持ちする真空パックでの出荷を始めたたり、新しいことにも挑戦しています。ビタミンCが豊富なレンコンをたくさん食べて、寒い時期を元気に過ごしてください。

フォルム株式会社

◆本社
〒233-0066
横浜市港北区高田西 1-1-47
☎ 045-591-6001
◆茨城工場
〒311-3416
小美玉市与沢 1556-2
☎ 0299-54-0131



フォルム 自動車部品 検索



棚一枚でもお気軽にどうぞ!

株式会社 笹光建設

〒311-3416 茨城県小美玉市与沢253-37
TEL 0299-54-0618 FAX 0299-54-0421

www.sasamitsu.co.jp/

ささみつ

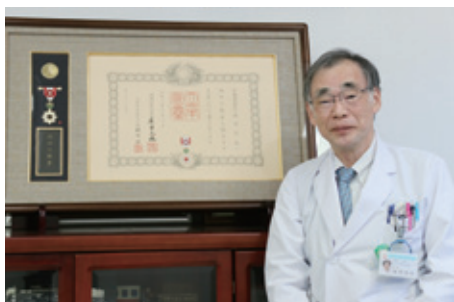
検索

新築/増改築/小さなリフォームなど



秋の叙勲 受章おめでとうございます

長年の功労・功績が認められ勲章を授与された方々を紹介します



旭日小綬章
諸岡 信裕 さん (小川)
小川南病院長、元県医師会長



旭日双光章
関口 輝門 さん (西郷地)
元市議会議員



旭日双光章
藤井 敏生 さん (写真右、小川)
元市議会議員

旭日小綬章、旭日双光章…公共のための功労があり、顕著な功績を挙げた方に授与される勲章。

小美玉イーグルスパーシニアが関東大会で3位入賞

小美玉市ソフトボール連盟の小美玉イーグルスパーシニアが、第21回関東スーパーシニアソフトボール大会に出場し、3位に入賞しました。この大会は70歳以上のチームで戦うことが条件で、11月20～21日に千葉県で開催されました。

2年ぶりの優勝を目指し、1回戦8対5、2回戦12対1と順調に勝ち上がりましたが、準決勝で南アルプス（山梨県）に6対7で惜しくも敗れ、第3位となりました。

監督の足立守さん（78才）は「練習に打ち込んで、次こそは優勝したい」と次回への意欲を語りました。



問い合わせ

スポーツ推進課 スポーツ推進係
☎ 0299-48-1111 (内線2253)

コラボレーションもご相談ください

安達建具 株式会社

小美玉市羽鳥2738-108
☎ 0299-46-0205

Instagram > Facebook >

KOGEI IBARAKI 伝統工芸品 「いばらき組子」認定

塗り替え・外装リフォーム専門店

地元×適正価格＝安心

石岡・小美玉エリア / **初**
外装ショールーム
OPEN!

石岡市の塗装屋さん
(有)中嶋塗装工業

石岡本社 石岡市半ノ木14159-5 ☎ 0299-57-1641 住宅診断・お見積り **無料**
小美玉店ショールーム 小美玉市羽鳥2727-11 ☎ 0299-57-2485 **中嶋塗装工業** 🔍 検索

日本赤十字社活動資金へのご協力ありがとうございました!

日本赤十字社活動資金(社資)として、令和3年度の小美玉市地区における合計支援額は5,312,002円となりました(集計期間4月1日~11月30日)。そのうち、区長や住宅管理者などを通じ、皆さまからご協力いただいた支援額(一般社資)は4,519,002円、企業からの支援額(法人社資)は793,000円でした。ご協力ありがとうございました。

資金は茨城県支部を通じ、国内外での日本赤十字社の活動(災害時の救助活動・救援物資の備蓄・血液事業・救急法の講習会の開催・乳児院の運営など)のため大切に使われています。

令和3年度 日本赤十字社社資
小美玉市支援額

社資種類	支援額
一般社資	4,519,002円
法人社資	793,000円
総額	5,312,002円

問い合わせ

社会福祉課 社会福祉係

☎ 0299-48-1111 (内線 3225)

小川公民館で「しめ縄リース」講座を開催

12月4日に小川公民館で「しめ縄リース」講座が開かれました。

参加者は清水章夫講師(小川公民館社会教育指導員)の指導を受け、しめ縄リースへの飾りつけや、代表者が稲わらもじりを体験。「稲わらもじりは難しかったが、楽しかった」、「飾りの種類が豊富で、とても楽しく表現できた」、「また来年も参加したい」などの声があがりました。

日本の冬の風物詩である「しめ縄飾り」の文化に親しむ貴重なひとときを過ごしました。



問い合わせ 小川公民館

☎ 0299-58-3111

1号から掲載 OK!

広報おみたまに
広告を出しませんか?

詳しくは
こちら

企画調整課 シティプロモーション係
☎ 0299-48-1111 内線1234



畳は最高の床材です!

税込価格



畳表替

3,800円~

アミ戸張替

大サイズ
2,300円

障子張替

厚口紙 大サイズ
2,500円

襖貼替

2,750円~

謹賀新年

相川畳店

☎0299(26)0669
石岡市旭台 1-15-1

地元在住 山本洋平さんが原案 小川北義務教育学校の校章が決まりました

デザイン案を公募し、応募作 77 点から決定しました。

原案制作者

山本洋平 さん (小川北学区出身・在住)

デザイン説明

野田・上吉影・下吉影の3地区の輪を、3枚の花弁を持つ花で表現しています。輪の中の「小」「川」「北」と中央の「学」の文字は、学校名を表しています。統合によって地域の輪が1つになり、児童生徒が一丸となって切磋琢磨することで、地域に新たな花を咲かせ、新しい歴史を創り上げてほしいという想いを込めています。色は、緑豊かな小川北の自然や児童生徒の若々しさをイメージし、基調色を緑色にしました。



問い合わせ

教育企画課 企画係
☎ 0299-48-1111
(内線2211・2213)

おみたま環境エコポイントへのご参加ありがとうございました

市民の方が日常生活のなかで地球にやさしい行動 (COOL CHOICE) にチャレンジできる取り組みとして「おみたま環境エコポイント」を実施しました。

25 個あるチャレンジ項目をビンゴ形式で行い、条件を満たすと景品に応募できる仕組みで、約 250 件の応募があり、全ての項目を達成した方も 1 名いました。

たくさんの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。応募者の中から抽選で 60 名の方に、景品をお届けします。

これからも地球にやさしい行動 (COOL CHOICE) を継続していきましょう。

※当選者の発表は、景品の発送を持ってかえさせていただきます。



問い合わせ

小美玉市環境フェスティバル実行委員会
事務局 (小美玉市環境課内)
☎ 0299-48-1111 (内線1141)

携帯電話・スマートフォン・インターネットに関わる事ならなんでもご相談下さい！

docomo ドコモショップ小美玉店

〒319-0106

小美玉市堅倉1598-21

☎ 0120-135-224

営業時間 10:00 ~ 19:00

定休日 第2火曜



docomo ドコモショップ石岡店

〒315-0014

石岡市国府4-6-12

☎ 0120-570-360

営業時間 10:00 ~ 19:00

定休日 第2水曜



待ち時間緩和の為、ご来店の際は予めご予約をお願い申し上げます。従業員一同心よりお待ちしております。

農地利用最適化推進委員・女性農業委員の研修を行いました

■農地利用最適化推進委員の研修会議を実施



11月1日、農地利用最適化推進委員による研修会議を行いました。3年間にわたる農地利用実態把握調査の間に実施した農地パトロールや農家訪問などについて、6つのグループに分かれ討議し、今後の農地のあり方について、活発に意見交換しました。農地の集積・集約化につなげるための農地マッチング交流会や座談会へ向けての有意義な研修会議となりました。

▶研修報告

農地利用最適化推進委員 細谷秀久

農地パトロール、調査にはタブレット端末を使用し、GPSで位置を正確に確認することができました。調査を通して、耕作放棄となっている農地は農道が狭く、車・農業機材が入らず有効活用ができない状況だと分かりました。人手不足の今、農業機材を使用できないとなると、誰も耕作はできません。早急な農地の基盤整備をしないと、担い手は育たないと感じました。

■関東ブロック女性農業委員等研修会に参加



11月5日、県内の女性農業委員を対象に女性農業委員研修会がつくば市で行われ、小美玉市からは2名の女性農業委員が参加しました。農業をとりまく情勢や、さまざまな地域で活躍する女性農業委員の事例発表を通して女性農業委員が果たす役割などを学びました。

▶研修報告

農業委員 田村智子

女性農業委員研修会が開催され、山本委員とともに参加しました。全国には、未だ女性委員が一人もいない農業委員会が多いのが現状です。現在、小美玉市は農地のマッチング交流会を市内9地区に分けて行っています。私たちもこのような場に積極的に参加していきたいです。

問い合わせ

農業委員会事務局

☎ 0299-48-1111 (内線 1502・1503)

住民票をとるには？

引っ越しの手続き

小美玉市の魅力は？



元気？

ごみの出し方

観光の情報？

その問い合わせ、**AIおみたん**に聞こう！



みんなの質問でかしくなるよ

質問はこちらから▶



グランプリ決定！ 第14回茨城空港ゆめ未来芸術展

茨城空港や小美玉市の魅力などをテーマに、県内在住・在学中の児童・生徒が描いた1400点以上もの応募作品の中から、グランプリが決定しました。

グランプリに輝いたのは、羽鳥小学校6年生の杉田知優さんが描いた「サッポロビール博物館」。審査員からは、「レンガの色使いが素晴らしい」「現地に訪れた気分になることのできる絵」と、博物館や飛行機がリアルに描かれている点が評価されました。

■主な賞と受賞者(敬称略)

【小学校5・6年生の部】

【グランプリ】



羽鳥小6年 杉田 知優

【準グランプリ】



玉里学園5年 山口 璃空

【金賞】



小川南小5年 浅野 功揮



納場小5年 檜山 明里



玉里学園6年 中村 好花



羽鳥小6年 石川 道也



上佐谷小5年 中根 奈那



堅倉小6年 深作 碧大

応募された全作品を市ホームページで見ることができます。

茨城空港で開催中の展示会は1月30日(日)まで。入賞作品125点を中心にご覧いただけます。



問い合わせ

商工観光課 観光振興係

☎ 0299-48-1111 (内線 1163)

銀賞13名

銅賞22名

【小学1-4年生の部】

金賞7名(高橋 明良・黒澤 心海・狩谷 美尋・竹田 華菜・田山 萌絵・玉造 桜牙・七川 翔)

銀賞9名

銅賞14名

【中高生の部】

金賞5名(松塚 舞優・藤崎 瑞生・豎谷 花音・小石川 恵琉・大貫 杏奈)

銀賞12名

銅賞17名

【共通】

審査員賞4名(長島 優衣・坂 紘花・半澤 翔大・久保田 壘斗)

空港賞5名(山崎 誠也・島田 遥・吉倉 千尋・山本 粹人・赤羽 華佳)

スカイマーク賞(千葉 愛奈)

セブンネット賞8名

令和3年度受賞者一覧 多分野で活躍した市内の児童生徒を紹介します

11月22日、さまざまな分野で活躍している市内の小中、義務教育学校の児童生徒が市長を表敬訪問しました。受賞内容や好成績を収めた感想、日頃の取り組みなどを報告しました。

報告した内容は、以下の通りです。

※同じコンクールなどにおいても茨城県レベルの佳作(相当)以下の作品に関しては、市長表敬訪問の基準に満たしていないため掲載していません。また、中学校のスポーツ関係に関しては、関東大会出場以上が市長表敬訪問の選考基準となっています。
※学校名・学年は令和4年1月5日現在。



大会名・コンクール名など/結果	学校名・団体名/氏名(敬称略)
ダイハツ第22回全国小学生ABCバドミントン大会 茨城県予選大会 C女子シングルス 準優勝 茨城県低学年4年生以下シングルス大会 2年女子シングルス 優勝	小美玉ジュニアバドミントン少年団 竹原小 2年 遠峰 真衣
2021極真手塚世界空手道選手権大会 小学6年男女混合中級-平安II~平安V- 準優勝	羽鳥小 6年 島田 茉音
未来のとびらコンテスト2021 1~3年生の部 銀賞	羽鳥小 2年 真原 ひかり
第49回茨城新聞小学生読書感想文コンクール 茨城県知事賞	羽鳥小 4年 神田 慈生
第41回全日本バレーボール小学生大会茨城県大会(男子の部) 第3位	みのりスカイウイング 竹原小 6年 山崎 啓巧 羽鳥小 5年 加納 大聖 羽鳥小 5年 石井 李人 羽鳥小 6年 遠藤 叶翔 羽鳥小 5年 石井 李音
春の関東ドッジボール選手権大会 第2位	茨城KOSMO 堅倉小 6年 磯部 斗真 堅倉小 4年 海老澤 駿佑 堅倉小 6年 小林 佳純
第31回茨城県少年少女空手道選手権大会 組手の部 小学5年女子 優勝 組手の部 小学1年女子 優勝 組手の部 小学5年男子 準優勝	石岡壮空会 納場小 5年 齋藤 凛桜 納場小 1年 小綿 珠々音 納場小 5年 小綿 柚希
文部科学大臣杯第63回小学生中学生全国空手道選手権大会茨城県選考会 小学校低学年女子団体型の部 優勝 小学校高学年男子団体型の部 優勝	小川空手スポーツ少年団 常東支部 小川南小 4年 藤田 菜月 小川南小 6年 藤田 煌生
2021極真手塚世界空手道選手権大会 小学6年男女混合上級(自由型)第4位	木鷄會 小川南小 6年 浜田 一來
令和3年度茨城県中学校総合体育大会 陸上競技の部 1年女子800M 第2位 令和3年度関東中学校陸上競技大会 1年女子800M 予選出場	小川南中 1年 手賀 莉桜
令和3年度茨城県中学校総合体育大会 陸上競技の部 共通女子四種競技 第3位 令和3年度関東中学校陸上競技大会 共通女子四種競技 棄権	小川南中 3年 山野邊 夏来
令和3年度茨城県総合体育大会 準優勝 令和3年度関東大会 出場	小川北中女子バレーボール部 3年 小澤 花歩 2年 金田 愛羽 3年 市村 帆風 2年 平川 琴 3年 石躍 彩乃 2年 小田 姫華 3年 田村 優杏 1年 小田 瑞季 3年 小野 あやの 1年 渡辺 華帆 2年 齋藤 麻理菜 1年 櫻井 美玖 2年 井上 琴乃
第45回関東中学校水泳競技大会 男子 200m平泳ぎ 第8位 男子 100m平泳ぎ 第7位	美野里中 2年 真田 賢人
第45回関東中学校水泳競技大会 女子 50m自由形 出場 女子 100m自由形 出場	美野里中 3年 高桑 碧衣

令和3年度受賞者一覧 多分野で活躍した市内の児童生徒を紹介します

大会名・コンクール名など/結果	学校名・団体名/氏名(敬称略)
第45回関東中学校水泳競技大会 男子 200mバタフライ 出場	美野里中 1年 真田 蓮生
第45回関東中学校水泳競技大会 男子 200m個人メドレー 出場	美野里中 1年 石川 智也
第49回関東中学校陸上競技大会 男子 800m 出場	美野里中 3年 里澤 侑利
第49回関東中学校陸上競技大会 男子 3000m 出場	美野里中 3年 藤枝 蓮音
第49回関東中学校陸上競技大会 女子4×100mR 出場	美野里中 2年 市ノ澤 陽心 3年 諏佐 和香菜 3年 磯部 梓 3年 西尾 美来
第52回関東中学校新体操大会 団体 出場	美野里中 2年 新井 結愛 2年 杉山 瑠璃 2年 渡邊 葵羅 2年 金澤 遥 3年 豊田 弥桜 2年 中武 美都 2年 中武 美詞 2年 山下 莉央
第6回全日本中学女子軟式野球大会 出場	美野里中 3年 櫻井 若葉
関東中学生都県対抗野球選手権大会 優勝	美野里中 3年 中本 佳吾
令和3年度茨城県統計グラフコンクール 茨城県統計協会総裁賞	玉里学園 9年 長谷川 佳彦
令和3年度茨城県統計グラフコンクール 茨城県統計協会総裁賞	玉里学園 4年 長谷川 碧玲
令和3年度茨城県統計グラフコンクール 茨城県統計協会総裁賞	玉里学園 7年 高野 心詩
令和2年度茨城県小学校バレーボール新人大会 混合の部優勝 令和3年度茨城県小学生バレーボール選手権大会茨城県大会 混合の部優勝	小美球ブルーインパルス 玉里学園 5年 小沼 颯右真 小川南小 5年 小澤 昊大 下吉影小 5年 小田 優依奈 羽鳥小 6年 萩野 真稀

問い合わせ 教育指導課 指導係 ☎ 0299-48-1111 (内線 2232)

皆様のご意見をお寄せください パブリックコメントを実施しています

小美玉市を含む県央地域9市町村での「連携中枢都市圏の形成」に向けて、「いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン」の策定を進めています。このビジョンは、圏域の将来像を定め、構成市町村が連携して行う具体的な取り組みを推進するためのものです。策定内容をより良いものにするため、「パブリックコメント」を実施しています。皆さんからの貴重な声をお待ちしています。

■計画名

いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョン(素案)

■計画期間

令和4～8年度

■意見公募期間

1月11日(火)～2月9日(水)

■閲覧場所

①市役所庁舎(本庁、小川、玉里)

②市ホームページ

■提出方法

任意の様式に住所、氏名または団体名、連絡先を記入し、[郵送、FAX、Eメール、直接持参]のいずれかの方法で、水戸市政策企画課へ提出してください。

[郵送/直接]

〒310-8610 水戸市中央1丁目4-1

水戸市政策企画課あて

[FAX]

☎029-232-9462

[Eメール]

renkei.vision@city.mito.lg.jp

[TEL]

☎029-232-9106

問い合わせ

秘書政策課 政策推進係

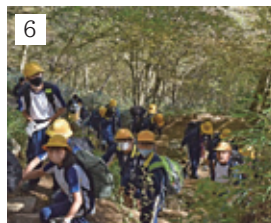
☎0299-48-1111(内線1211)

詳しくはこちら





学校紹介 納場小学校



1 校舎 2 稲刈り 3 運動会 4 田植え 5 1年生を迎える会 6 遠足(6年) 7 道徳授業研究会

納場小学校は、11月に創立144年を迎えました。学校教育目標は「心身ともに たくましく自ら学び考え 主体的に判断し行動する 実践力のある児童の育成」です。

かがやく瞳

がんばりぬく姿

やさしい心

くふうするかしい頭

を合言葉に、学習や運動に取り組んでいます。

納場っ子は、新しい学力観に合わせた対話的・協働的な学び合いやICTを活用した学習を通して、深い学びにより学力の向上を図っています。

毎朝正門で、6年生を中心にあいさつ運動を行い、「おはようございます」の元気な声で一日がスタートします。

体力づくりのため、朝ランニングや縄跳び運動、鉄棒運動に取り組んでいます。昨年度は全校で「スポーツチャレンジ」にも取り組みました。

1年生を迎える会や田植え・稲刈りなどの学校行事は、感染症予防対策をとりながら、工夫して実施してきました。こうした行事には、PTA本部の皆さんや地域の方々、JAの方など、たくさんの方々のご協力をいただいています。

問い合わせ 教育指導課 指導係 ☎ 0299-48-1111(内線 2231)

季節を詠む、
時流を詠む

四季の歌



美野里短歌クラブ

田の畔に親子連れかな虫取りかりアルに見える創作案山子
何気なく生きている日々もしかして多くの奇跡重なりて今
団子そえススキを飾り今宵待つ現れた月は煌々と照る
寝そびれて眠れぬままに明けし朝新聞配達力タリと聞こゆ
朝夕の気温下りて桜葉の掃除しばらく続いておりぬ

小川短歌会

頻鳴きて仲間呼びつつ熟れ柿をついばむ百舌の甲高き声
野の花を籠に活けたるライン来ぬ友にあやかり野菊を瓶に
ジロウ柿大きくびつくり手に重い曾孫等の笑顔に早く会いたい
くすぶれる煙にこもる枯紫蘇の匂い執念く夕畑に満つ

玉里短歌会

飯坂の温泉の街をこうこうと寒さつのらせ照らす満月
ひきたてのコーヒーこたつに飲む朝俳句の講座一人楽しむ
アンニユイは心が晴れぬとうフランス語晴れやらぬ朝かの国思う
幼き日母とつくりし吊し柿半世紀経て我が手につくる
清貧の暮しの家を訪ね来て冷たき雨に光太郎偲ぶ

寄稿

足なやみ毎日散歩田んぼ道

菱沼清子	菱沼友江	宇都宮和子	碓谷きえ	白根澤清香	石田はる江	中根良子	根本智恵子	幡谷啓子	正木敦子	鶴町文男	齋藤かつみ	松田通喜	高田久子	深作茂登子
------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	-------

みづうみ俳句会

冬の空歓声あげて走る子ら
冬の陽を背中にかけて豆を打つ
夕星の光り静かや柵戸しめる
冬の空解体進む我が母校
冬の空ねぐらへ急ぐ鳥の群れ

みのり俳句会

百合の香や庭の一部が楽しかり
少年の余裕手秋の夜のオセロ
すみずみに雲打ちよせて天高し
よく晴れて今日の主役は七五三
主なき家にも柚子のたわわなり

櫛の会

ため息を心で聴きし十三夜
コロナ禍も心穏やか冬を越す
半眼の立木観音山眠る
炬燵ぬるし夫婦喧嘩の「いち抜けた」
幸せとおもえば赤し実万両

くるみ俳句会

寄り添って水辺ただよふ夫婦鴨
けんちん汁誉めぬ夫のゆるむ頬
野に老いし妻の面影春着縫ふ
身に入むや百才語氣の穏やかさ
舟溜り釣舟浮かぶ冬の湖

玉里俳句会

息白し抜きつ抜かれつ持久走
只見川切り開き行く紅葉船
安らかに他界せし父霜の花
数へ日の喧騒忘る角櫓
迷い犬捜す貼り紙師走かな

小美玉川柳会

顔染まる紅葉と酒と嬉し友
正月の飾り今年もアマビエか
仲を裂くコロナの後にオミクロン
青二才先を読む目にオヤジ負け
古希迎えたいこと百今メモル

三村れい子	長島さか江	榎本喜代子	長島久美子	長島昭	坂藤清光	佐藤清心	島田清子	白根澤千代	立原	塚田忠男	岡田敏江	石島禮子	岡島小夜子	木村	小原エミ	信田菊村	島田篁子	城垣睦子	杉山照子	斉藤富子	矢口友子	長谷川光男	野口初江	松田通喜	江戸忠男	阿久津昭雄	石井昇久	小橋本岳悠
-------	-------	-------	-------	-----	------	------	------	-------	----	------	------	------	-------	----	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------

小美玉市 新型コロナワクチン接種

最新情報



最新情報は市ホームページ・行政メールでお知らせ

初回接種 1~2回目接種

接種できる方
(12月10日現在)

12歳以上の方

▶保護者の皆さまへ

18歳以下の方は、接種当日に保護者の同伴が必要です。

15歳以下の方は、保護者の同伴・同意(予診票に記入)が必要です。

接種券の発送

12歳の方の接種券は、誕生月に発送しています。

ワクチン接種の予約方法

予約には「接種券番号」が必要です。お手元に接種券を準備して、下記コールセンターへご連絡ください。



コロナワクチン接種コールセンター
☎0299-57-3309
受付時間 8:30~17:00 (土日祝日除く)

追加接種 3回目接種

医療従事者より順に接種を進めています。

3回目接種が可能な時期になりましたら、予診票を発送予定です。

※2回目接種の接種時期によって、3回目の接種時期が異なります。



小美玉の日常をゆる〜く描く4コマ漫画。小美玉のクリエイターが3か月交代で担当します。



作者紹介 清水 すず菜

グラフィックデザイナー兼イラストレーター。家族は夫と娘1人と黒猫1匹。夫の転勤を機に2020年3月から小美玉市民に。



すべての子育て世帯に子ども1人当たり10万円を現金給付

詳しくはこちら



申請はお済みですか?

子育て臨時特別給付金

将来の小美玉市を支える子どもたちに公平に給付金が行き渡るよう、所得制限を設けず、すべての子育て世帯に臨時特別給付金を一括で現金給付します。次の対象に該当する場合は申請が必要です。

対象

- ・高校生(16歳から18歳まで)を養育する保護者
 - ・18歳までの子を養育する公務員
 - ・新生児(令和3年10月から令和4年3月生まれ)を養育する保護者
- ※令和3年9月30日時点で中学生以下の子を養育する児童手当受給者(公務員除く)には支給済みです。

申請方法

自宅に届いた案内に従い、①申請書、②振込口座情報がわかる通帳等の写しを申請窓口提出してください。

※新型コロナ対策のため、なるべく郵送による申請にご協力ください。



申請期限

令和4年3月31日(木)

申請窓口

子ども課(小川総合支所内)
美野里福祉事務所(本庁内)
玉里総合窓口係(玉里総合支所内)

問い合わせ

子ども課
☎0299-48-1111
(内線2243・2244・2247)

小美玉市職員の講義を受けて、まちの魅力を自分が知らないだけだと気づきました。もっと自分からまちのいいところを探していこうと思いました。茨城キリスト教大学生

シティプロモーションアワードの金賞受賞おめでとうございます!小美玉市に関わる全ての人々が、小美玉市を大切に想っているっていう証拠ですね! 牛久市 40代



小美玉市に行くといつも干し芋を買います。いくらあっても足りないくらい!これからも美味しいものをたくさん作ってください。 東京都40代(ふるさと応援メッセージ)

私を育ててくれた小美玉市。幼い頃からすれ違った人とあいさつを交わすのが日常でした。あいさつで元気をくれる小美玉市民が大好きです。下水道課 小林(入庁1年目)

広報 おみたま
令和4年1月号

編集・発行 小美玉市役所企画調整課
TEL 0299-48-1111 〒319-0192 小美玉市堅倉835
FAX 0299-48-1199 https://www.city.omitama.lg.jp

